

## 令和3年度 第1回

### アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会 会議録

■日時：令和3年5月28日（水）10時00分～12時00分

■場所：フェリエ南草津5階 市民交流プラザ大会議室

■出席委員：肥塚座長、加藤副座長、及川委員、阿部委員、田畑委員、田中委員、神部委員、阪本委員、秦委員、松浦委員、木村委員、片岡委員、内山委員、亀石委員、北村委員、松井委員

■欠席委員：伊庭委員、有村委員

■傍聴者：1人

■事務局：岸本副部長、田中参与、本村調整員、中瀬参事、中野主任、辻会計年度任用職員

#### 1.開会

##### 【事務局】

皆様、おはようございます。定刻になりましたので、只今より、令和3年度第1回アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会を開催させていただきます。まず、事務連絡をさせていただきます。5月中頃に連絡させていただきましたとおり、新型コロナウイルスの影響により、一部の委員の方についてはZoomで御参加いただいております。本会において、Zoomの導入が初めてとなりますので、映像や音声等、様々なところで御迷惑をおかけすることと思いますが、御容赦いただきますようお願いいたします。では始めに、本来であれば新しく就任しました草津未来研究所副所長の木村が始めの挨拶をさせていただくところですが、公務の都合により欠席となっていましたので、代わりまして総合政策総括副部長の岸本が挨拶申し上げます。

##### 【岸本副部長】

皆様、おはようございます。草津市総合政策部副部長の岸本でございます。

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。日頃から草津市のまちづくりに御支援、御協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。本来、草津市総合政策部長であり、草津未来研究所副所長の木村が出席させていただかなければならないのですが、本日、市議会の対応のため、欠席となりましたことをお詫び申し上げます。

さて、草津市では、2021年度から2032年度までの12年間のまちづくりの指針として第6次草津市総合計画を今年度からスタートさせていただきました。

ひと・まち・ときをつなぐ「絆をつむぐふるさと健幸創造都市草津」を将来ビジョンに掲げており、UDCBKによる産学公民の連携によるまちづくりの展開を施策として

あげております。UDCBKが、2016年10月に開設させていただき、5期目を迎えておりますが、産学公民が知見を持ち寄り、専門の先生方の助言を得ながら、長期的な見通しを持った都市デザインを構想して取組を進めることとして、開設当初からこの事業運営懇話会を設置させていただき、その在り方や事業について御意見をいただきながら運営を進めさせていただいてきたところであり、改めて皆様に感謝申し上げる次第でございます。

計画においては、人口減少、超高齢社会が進行していく中で、草津市においては、2030年をピークに人口が減少していくと見込んでおりますが、御承知のとおり、現在は高層マンションの建設や、プリムタウンのような住宅開発が進んでおり、人口は増加しております。

本日は、2020年度の事業報告、ならびに2021年度実施事業（案）につきまして、御意見をいただきたく存じますので、皆様には忌憚のない御意見をくださいますようお願い申し上げます。開会の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

#### 【事務局】

まず、配布資料の確認をさせていただきます。本日の次第と資料1～2、また委員変更がございましたので委員名簿をつけております。皆様のお手元にございますでしょうか。議事に入ります前に、昨年から人事異動等により、新しく委員になられた方がおられますので紹介をさせていただきます。今年4月より委員を委託させていただきました、立命館大学理工学部教授の阿部俊彦様です。同じく今年4月より委員を委託させていただきました、龍谷大学先端理工学部教授の木村睦様です。木村委員は今回Zoomにより御参加いただいております。次に、4月の人事異動に伴い、事務局職員の変更がございましたので、簡単に紹介させていただきます。（紹介）

また、本日、伊庭委員、有村委員については御欠席でございます。それでは、次第に従いまして進めてまいりたいと思います。開会にあたりまして、座長の肥塚先生から御挨拶をいただきます。

#### 【座長】

おはようございます。新型コロナウイルスの話から始まってしまいますが、6月20日まで緊急事態宣言が継続されるということではしばらくこのような状況が続きます。今回はオンラインも使用して会議をしていますが、大学の方もオンラインやハイブリットなどいろんな形態で授業をしています。UDCBKはアーバンデザインということですが、アーバンデザインの在り方もこのような状況で大きく考え直す視点が必要だと思っている次第です。私もオンラインで中国や台湾の大学とつないで特別授業をしております。直接会わなくても様々な交流が進んでいく、新しいやり方がどんどん進んでいって

いると実感しています。今後私たちがアーバンデザインを考えていく時にそういった観点も求められていくのではないかと考えています。今年度もよろしく願いいたします。

それでは、令和2年度実施事業報告について、説明をお願いいたします。

## 2. 報告

### 【事務局】

(資料の説明)

補足があればお願いいたします。

### 【A委員】

報告書には、事業プロジェクト、学習事業、社会実験準備事業などメインのプロジェクトについてのこれまでの成果が書かれています。そこに合わせてこれからの課題と課題に対する対応策があちこちに散らばっています。そこでこれからUDCBKのスタッフでもう一度今までの事業を振り返って成果と課題、それに対する対応策もリストアップする作業をしようと思っています。今年度の事業予定案は課題と対応策を受けて皆さんにお示しするのが本来ですが、成果と課題と対応策をまとめるのに少し時間がかかりますので、実際に運営を実施していく中で課題と対応策を見極めながら進めていきたいと思っています。今年は特に事業の中では南草津ビジョンとの関連事業、またUDCBKのオープンスペースにある都市と交通プロジェクトの展示物には複数の案が出ています。これは従来なかった新しい試みです。今後委員の皆様には課題と対応策について御意見を賜ることもあると思います。ぜひよろしく願いいたします。

### 【B委員】

去年から社会実験準備事業で関わらせていただいています。コロナの影響でいろんな問題が出てきている一方で、アーバンデザインの分野でも地域の方との関わり方等も変わりつつあると思います。公共空間の活用、駅前広場に関しても去年オンラインでいろんなワークショップをやっていく中で蓄積が出てきています。昨年度の事業の成果を踏まえて目に見える形でどんなことが出来るのか、ひとつひとつやっていくことが大事なのではないかと思っています。

### 【座長】

補足説明ありがとうございます。それでは皆様から、御質問、御意見があれば、お願いいたします。

### 【C委員】

事業はよくやっていると思います。私が気になるのはオープンスペースの利用の仕方です。全国のUDCでのオープンスペースの利用の仕方参考になるものの情報を得ているのかどうかということをお伺いしたいです。もう一つは資料の8ページ9ページ、実際の利用のされ方を見ていると結局学生の宿題と会社員のテレワークでほとんどが使われていて果たしてこれが本来のオープンスペースの使われ方なのか、このままでいいのかということが心配です。オープンスペースというのは我々と市民をつなぐ最前線なので、この在り方はどうなのか。学生や会社員の利用者の方がやりたいことをやって終わったら帰る便利な場所という使われ方をするのではなくて、その人達に対して南草津のまちづくりや今やっているプロジェクトに対してどういう考えを持っているのかというのをアンケートなどに記入をしていただくことは出来ると思います。来ている人からいろんな情報を積極的に得るということをやっていないとだめなのではないかと思いますが、そのあたりいかがでしょうか。

#### 【事務局】

まず全国のUDCの使われ方ですが、UDCの組織形態が色々なので一概に同じ使われ方をしていないと思います。他のUDCもコロナの関係があってオープンスペースが使いにくくなっているという情報はあったのですが、社会実験的にシェアオフィスや学習スペースに使われているところもあります。今まではワークショップで定期的に利用することがあったのですが、コロナ禍でどこも大人数集まるのが難しい状況です。今年度、同じようにオープンスペースを持っているUDCM（松山）に状況を聞かせていただくという計画は立てています。他のUDCは組織が違うので、利用料を徴収する等いろんな方法でオープンスペースを活用しています。UDCBKは利用料をいただくことはできないので難しいですが、活用の方法は参考になると思うので調査をしていこうと思っています。また御利用者の方への働きかけですが、都市と交通プロジェクトの展示物をした時にはアンケートを実施して御協力いただきました。利用者の方には事前に、ここは単なる自習室やテレワークの場所ではないのでこちらからまちづくりに関する調査をする時には御協力をお願いしたいと説明をさせていただいた上で御利用いただいています。ただ毎日アンケートを取るような事案がないのでそのあたりは工夫が必要だと思っています。8ページのオープンスペースでの情報発信ですが、大きなプロジェクターに以前はランダムに動画を流していましたが、現在は曜日ごとに内容を変えて情報提供をしています。その中でUDCBKのセミナーでオープンにできる内容を流す等の取り組みが出来るようにしていきたいと思っています。

#### 【副座長】

資料11ページの(3)産学公民連携に関わるUDCBKへの相談件数のべ67件という数字が上がっていますが、こういった相談内容なのか、また相談の手段はどういった形式なのか教えてください。

**【事務局】**

民と書かれている市民の利用者様からの御相談は対面が多いです。産学公に関しては電話が多く、こういったことを一緒にできないでしょうかといった内容が多いです。事例として、パナソニックの松下商学院の方と2年ほど前からつながりをもって、そこから草津のフィールドワークに取り組んでいただいています。昨年度はそれにプラスして認知症サポーター養成講座を受けてみたいということで長寿いきがい課と連携して御協力させていただいたという案件もあります。行政が窓口になると相談が難しくなりますが、UDCBKが間に入ってつなげていくという関係を持たせていただくこともございます。

**3. 協議**

**【座長】**

それでは令和3年度実施予定事業案について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

(資料の説明)

補足があればお願いします。

**【A委員】**

南草津ビジョンについてUDCBKという組織がどういう立場で取り組むのか、具体化に向けてどう進めていくかというのが昨年度までとは違った新しい試みです。その他プリムタウン周辺の公園、駅前の考え方、特に都市と交通プロジェクトについてはこれまで積み上げてきたものをさらに展開するということです。学習事業のアーバンスクールとセミナーですが、お手元に前期のアーバンデザインスクールのチラシがございます。2年前に「アーバンデザイン講座」という教科書が出来まして、スクールではその著者5人に再度登壇していただきます。5人ともUDCを作った北沢猛先生のお弟子さんたちで、まさにUDCの現場そのものに関わられた方々です。ぜひ皆さん参加していただければと思います。先ほどの説明の中で子育てのお話がありました。前回委員の皆様から子育てまちづくりということを指摘されまして、これを考えなくてはならないと思います。私たちはどうしても高齢者に住みよいかバリアフリーとか考えてしまいがちですが、普段UDCBKに来ている学生がどういうことを考えているのか、また小さいお子さんの交通の問題、子連れで外出するときのまちづくりの在り方、そういったところに知見

を持った方をお願いしてスクールの後期なのかセミナーなのかまだ分かりませんが、やりたいと思っています。最後に産学公民連携について。UDCBKがいつも指摘されるのは、産学公民の学と公と民はそろっているけれども産とのつながりを強化しなければいけないということです。パナソニックさん滋賀銀行さんにいつもお世話になっていますが、もう少し広く産業界と共同でやっていけたらと思っています。ただUDCBKは市の組織ですので企業の営利事業とどう絡んでいくか、営利との関係、そのバランスを見ながら少しだけ境界を緩めていかないと産との連携が難しくなると思います。少し融通をきかせながら企業の参加者を募って新しいまちづくりにチャレンジするということを意識して事業計画を進めていきたいと思っています。

#### 【B委員】

全国のUDCの活動をみると、いろんなUDCにそれぞれ明確なミッションがあってそれに向けて社会実験を行って実現してくということがありますが、それと比較するとUDCBKはいろんな課題があるのだけれどどこから手を付けたらいいのかという状態です。ですがUDCBKらしさ、良さというのは都市計画や建築だけでなく、食や健康等いろんな分野にも大学の先生方が参加されているので、より生活に密接した公共空間を作れると思いますので、そういうことを考えていくことが重要かなと思っています。体制についてプラットフォームというのが議論にありますが、いろんな分野の方が適切に議論をしてプロジェクトや戦略に向かっていくことができるかどうか課題となると思います。実現するには産学公民がどう連携して誰が資金を出してという、そこら辺まで議論が及ばないとなかなか前へ進めないで、今年はそういったことが検討できたらと思っています。

#### 【座長】

それでは皆様から、御質問、御意見、御提案などお願いします。

#### 【D委員】

南草津ビジョンとUDCBKの関わりところで少し理解できないところがあります。いろんな方に理解をいただくために、文章だけではなくポンチ絵のような説明資料があると分かりやすいと思いました。

#### 【座長】

南草津ビジョンのポンチ絵は今年の第3回の時に示しています。南草津ビジョンは現在進行形です。そこに新たなプラットフォームが提案されていますが、そこでUDCBKがどういう役割を果たしていくのかということについて説明をお願いします。

#### 【事務局】

前回配布した概要版の方に南草津ビジョンの推進体制が書かれています。地域、大学、企業、各種団体の真ん中に新たなプラットフォームが書かれています。今のUDCBKがそのまま当てはまるかどうかは決まっていない状況ですが、UDCBKは産学公民の連携をモットーに進めていますので南草津まちづくり推進ビジョンを進めていく中でUDCBKがどのような役割を果たしていけるのかということ、事業を動かしながら、法人化やUDCBKの組織体制というものを考えていきたいと思っています。南草津ビジョンを見ますと、すでにUDCBKが以前から取り組んでいるような内容が施策に入っています。今後、第2回の運営懇話会の際には南草津ビジョンが策定された後になるはずですので、どういう施策にUDCBKの事業が結び付いているのかということを示せるようにしていきたいと思っています。

#### 【D委員】

ここで議論されたことが南草津ビジョンにつながっていくというのはこの懇話会の意義であると思うので、ぜひ盛り込んでいただきたいと思います。それから案を作っていく時には誰かがたたき台を作らないといけないと思います。そういうことを主導していくところをきちんと決めて皆さんで議論していく、そういうやり方がいいのではないかと思います。

#### 【E委員】

南草津エリアまちづくり推進懇話会の中では、だれもが暮らしやすいまちづくりというのがあったと思いますが、多文化共生についてどのくらい話題に上がっていましたか。以前立命館大学の国際学生担当部局からの要望で、まちの看板が外国人にとって分かりにくいというような話があったと思うのですが、そこでどのくらい意見が反映されたか教えてください。

#### 【事務局】

南草津まちづくり推進懇話会は昨年で終了しましたが、立命館大学の職員の方との意見交換の場ではそのような意見はお伝えしています。今のような御意見をここでいただくと策定された後にUDCBKの懇話会でこのような意見が出ているということでそれぞれの担当課へこちらから投げかけていくという仕組みができるので、この場でそのような御意見をいただきますと助かります。また7月くらいからパブリックコメントが始まります。このパブリックコメントはUDCBKにも設置していますので是非委員の皆様にも御意見等入れていただきますとありがたいです。意見をたくさんいただいた計画は良いものになりますので、お願いしたいと思います。

#### 【F委員】

資料にUDCBKのオープンスペース活用についての課題が上がっていますが、コロナが終息しても働き方改革は続いていくことによってリモートワークをどこで行っていくのかというのは大きな課題だと思います。大きな会社だとサテライトオフィスを作る等あると思いますが、中小企業となると公的なところやいろんなところを使うことになると思います。住む場所、働く場所、そして心休まる場所。家ではどうしても難しいという方がこのオープンスペースに来られていると思いますが、セカンドプレースをどこに作るのかということはアーバンデザインにとってとても重要なことだと思います。ここをどう活用するか、そしてまちの中でセカンドプレースをどこに持ってくるのかということは議論になるのではないかと思います。

**【座長】**

働き方改革が進んでいった時にまちの中で働ける場所をどう確保していくかという観点から、都市空間を考える必要があるのではないかという御意見でした。

**【A委員】**

まちづくりのひとつのアイデアとして、御意見ありがとうございました。

**【B委員】**

このコロナ禍で、インターネットがサードプレース化しているという話もあり、セカンドプレースとサードプレースの境目がなくなりつつあるということもあり、働く場所と遊ぶ場所が混在するワーケーションという考え方もあり、だれもが使える公共空間で仕事ができる場所やそれぞれの居場所を作っていくというのはとても重要なことだと思っています。居場所としての公共空間をどうデザインしていくかということについてUDCBKでも議論できたらいいと思います。

**【G委員】**

前回子育てのセミナーについての御提案をさせていただきましたが、今年実現できそうということで嬉しく思っています。また1つ提案ですが、今年度草津市は多文化共生プランというのができましたので、是非多文化共生のまちづくりというのもトピックに御検討いただけたら嬉しく思います。もう1つ、先ほどオープンスペースが高校生の自習の場になっているという話が出ていましたので、私がお手伝いをしてもらった学生2人のエピソードを話したいと思います。その2人ともが高校時代にUDCBKで自習をしていて、大学生になりCOGやSDGsなどを通じて貢献をしたいという思いでUDCBKに帰ってきたということでした。まちに根付いている学生を大切にすることは大事なことはないかと思いました。

### 【事務局】

多文化共生まちづくりについて、先日やさしい日本語サロンで実施されたミャンマーの方との対談は非常に良かったと思っています。フライヤーは作っていますがなかなか一般の方の参加が少ないので、一般の方が参加しやすい時間帯に変えてみる等してみようと考えています。学生の方のお話ですが、高校生から大学生になって久々に寄ってくれたという人も年々増えています。若い世代の人を大事にするまちであれば、後々いざという時には草津に力を貸してくれることもあるのではないかと考えています。ただ、UDCBKという場所は非常に予算もかかっています。単にその場所をなくすのではなくて、あふれている子供たちの居場所を作っていくということも同時並行で考えていきたいと思っています。

### 【H委員】

先ほどからオープンスペースの話が出てきていますが、コロナ禍で様々なオープンスペースの必要性が出てきていると感じています。コロナが終息した後も大きなオープンスペースが必要になってくるケースもあると思います。そこに費用が掛かるのは当然のこと、そうならないためには現状で使えるオープンスペースをしっかりとリストアップしてネットワーク化するということが大事ではないかと考えています。そこでUDCBKが役に立てることはないのかなという気がしています。

質問ですが、資料の南草津駅周辺の屋外空間というのは具体的にどのあたりを指しているのか御説明をお願いします。また、パブリックコメントが広まるための工夫について考えていることがあれば教えてください。

### 【B委員】

屋外空間についてですが、道路や公園など屋根のないところの活用で県や市の土地だけではなく、このまちでは区画整理でセットバックしているので民地も含まれます。中心的に考えているのは駅前の広場や公園、歩道の空間ですが、そこだけではなくて空間のネットワークということを見るとフェリエなどの屋内も含めることも考えています。

### 【事務局】

パブリックコメントについてですが、設置されているのはUDCBKだけではなく市の公共施設の何か所かになり、御意見を頂けるようになっていきます。南草津ビジョンについてはまだ決まっていますが、例えば計画案の説明会を開いてそこで意見交換ができるような場を設けたりすることもあります。パブリックコメント自体があまり浸透していない状況ですが、多文化共生のパブリックコメントの時にはKIFAさんの協力のもとたくさんの御意見が集まったと聞いています。まず計画があつて、それに意見を言

う場があるということを知っていただくことにも力を入れていくことが大切だと思っています。UDCBKのフェイスブックやメール案内を活用して、今までに届いていない情報を届けることにも力を入れていきたいと思っています。

#### 【I 委員】

2点あります。1点目が、大学生が住むまちプロジェクトについて。大学は今もオンライン授業でサークル等の課外活動も原則禁止という状況が続いています。今後もオンラインやハイブリッド授業が続いていくと思うので、学生が戻ってくる様子がコロナ以前とは変わってくると思います。まちに大学生が減少する中でUDCBKの活用法として、大学での研究成果を発表する場とするという方法もあると思います。もう1点は、オープンスペースに来ている高校生がUDCBKに参画する仕掛けが何かあるといいと思います。UDCBKのフェイスブックで利用者から写真を提供してもらって草津のいいところをシェアするというのはいいい思っていて、高校生にそれを手伝ってもらってまちづくりに参加するきっかけになると思います。どうやってまちづくりに興味を持ってもらうか。自分事として意識してもらって関わってくれる人が増えると思います。

#### 【事務局】

以前の懇話会でも、インスタグラムを立ち上げるのが難しいのであれば利用者の方にハッシュタグUDCBKで投稿してもらおうといいのではないかと御提案いただきました。投稿する写真の題材もただ学生が自習している様子を上げるということではなく、御意見いただいたような内容を参考にさせていただきたいと思います。オープンスペースの活用では、例えば2年前に草津のまちづくりについて、大学の授業を実際UDCBKで行ってもらったり、去年はオンラインで大学とつないで実施したりしていただきました。新しいことを生み出すことも大事ですがなかなか難しいところもあるので、各大学で今実際にしていることをオンラインでつないでUDCBKで見せていただくとか、今やっていることの成果報告をUDCBKでやってみようとか、そういう発想の転換ができるといいと思います。皆様のところでそのような取り組みがあれば教えていただきたいと思っています。

#### 【J 委員】

オープンスペースの話ですが、2年ほど前から自宅で仕事をするようになったので、外で仕事ができるようなスペースが欲しいと思っています。セカンドスペース、サードプレースを探す時にインターネットで「コワーキングスペース」や「シェアスペース」で検索しますがなかなか出てこなくてUDCBKもヒットしないので、私自身も少し前までUDCBKの存在を知りませんでした。情報発信が課題とのことですが、インターネットで検索にかかるためにはキーワードを入れないといけないと思います。こ

こを利用する人が何を目的としてどういうキーワードを入力して検索しているかを知ること。フェイスブックでもキーワードを入れて記事を発信すると検索されやすくなると思うので、UDCBKがどのように使われてほしいかキーワードを設定して情報発信したら利用者側も探しやすくなるのではないかと思います。

#### 【事務局】

今はなかなか新しいものにチャレンジできないのですが、今あるものをどのように見せていくか、どのように展開していくかということは大事なことだと思います。それは今できることですので考えながら意識しながら今あるツールで発信して、新しいツールの取り入れの方も並行して考えていきたいと思っています。

#### 【K委員】

セミナー参加者の方を有効活用するという事はないのでしょうか。以前にも言ったのですがUDCBKのサポーター、草津市の市政に意見する人を増やしてもよいのではないのでしょうか。

#### 【事務局】

アーバンデザインスクールでは5回中3回以上参加された方に修了証書をお渡ししていて、この方々にはセミナー等の御案内以外にも議論の場を設ける際には御案内をさせていただこうとメーリングリストを作成して運用しています。また昨年度セミナーに参加された方の中から今度はセミナーの講師の立場で自分が取り組みをされていることの話提供していただくという話も出ています。参加者の方には今後UDCBKからの御案内や御相談がある場合は連絡をさせていただき旨お伝えするなど、つながりを持っていきたいと考えております。

#### 【K委員】

とても大切なことだと思います。先ほどのホームページの記事に関してもそういった方々に御協力いただければたくさん集まってくるのではないかと思います。それからコワーキングスペースについてですが、立命館大学の学部移転の関係で学生の下宿が空いてくるのではないかと思います。そういったところを使えばコワーキングスペースに活用できるのではないかと思います。

#### 【事務局】

社会実験は年に1回の応募になりますが、そのような取り組みをされているところとつながりをもってどのように活かしていけるか考えていきたいと思っています。

#### 【座長】

これから草津市で産業振興の計画を作る議論が始まります。この場では直接関係はないのですが、コワーキングスペースを含めてどうやって行くのかということ等、今後草津市としてはそのような取り組みもしていくということを御紹介させていただきます。

#### 【M委員】

先ほど産との連携が少し弱いという話がありましたが、UDCBKではいろんな事業に対する協賛や協力があり、企業が関係するようなセミナーも予定されていると思います。いろんな社会貢献をしている企業を発掘して事業に関わりをもってもらえるような仕掛けをしてみたり、まちづくりに熱心な企業にどんどん協力してもらったりしてはどうでしょうか。また大学生の話もありましたが2年間もこういう状況が続くと関わりやモチベーションも下がっていくと思うので、企業と学生をインターン等でつなぐとか、そういう役割ができればいいのではないかと思います。

#### 【事務局】

産業界とのつながりについてはずっと課題となっていました。その中で、セミナーに参加してくださった方がたまたま企業の方でそこから広がりを持たせていただいたり、南草津ビジョン懇話会の委員とのお話が今年度の事業につながったりしていますので、これをきっかけに企業の方と一緒にできませんかというような声掛けを広げていきたいと思っています。また草津商工会議所の職員の方がセミナーに参加され、その内容が良かったので中小企業の研修会に使えるかというお話もいただきました。やはり人と人とのつながりが一番早くて確実なのでUDCBKに関わっていただく方が応援団になって広めていただくということ、またUDCBK事務局が伝えていきたいことを示していきながらつながりを持っていくということを意識しながら、今年度の事業を進めていけたらと思っています。

#### 4. 閉会

#### 【座長】

委員の皆様、本日も具体的な御意見、御提案ありがとうございました。最後に私からのコメントさせていただきます。予定事業案の冒頭に話が出た新たなプラットフォームをどうしていくかということは大変重要なことで、UDCBKの位置づけという意味でも南草津ビジョンで新たな役割を期待されているということです。パブリックコメントを受けてからということですが、令和3年度でその議論は詰めていくことが求められます。そして令和4年度に向けて、どのような新しい役割を担っていくのかという方向性を示していくことがUDCBKとしても必要ですので、今後の懇話会でこのテーマについて御意見を頂いていくと思います。それから南草津ビジョンについては南草津に焦点

化されていますが、草津市の事業としてやっていくので、今後草津市全域の視点をどう持っていくのかということの中期的に考えていくことが必要だと思っています。この数年UDCとしてアーバンデザインに関わることを、南草津をフィールドとして様々実際に取り組んできた成果が令和2年度、具体的にビジョンとして集約された形で出てきました。今後のことを考えると、プラットフォームの話と在り方とも関わるのですが、草津全体も視野に入れることを中期的に考えることは大事なことだと思っています。それから産学公民連携の産、企業との関わりについても御意見たくさんいただきました。企業にとってSDGsということが大変重くなっているということ、また投資でESGという言葉が聞かれたことがあるかもしれません。これまで経営課題は経営課題で、社会の問題は貢献だとされてきたのですが、この数年で経営課題と社会課題を並列に扱う企業が相当増えてきています。そのこと自体をコミットメント、責任として表明する企業がどんどん増えてきていると思います。企業が社会課題を大変重視する、経営課題と同等に重視するというように変わりつつあるということ踏まえ、UDCBKとして産業界、企業との関わり方を考えておく必要があると思っています。委員の皆様にはスムーズな議事の進行に御協力いただきましてありがとうございました。

#### 【事務局】

委員の皆様お忙しい中お集まりいただき、またZoomで御参加いただきありがとうございました。今回はオンラインを導入した新たな試みをさせていただきました。このような取り組みをしていくのもUDCBKなのだと思います。本日いただきました御意見は今後のUDCBKの事業展開に反映してまいりますので、引き続きお力添えくださいますようお願い申し上げます。それでは本日の運営懇話会を閉会させていただきます。皆様、どうもありがとうございました。